

第2回 度数分布表の作成(実習)

1. 統計解析パッケージ SPSS

SPSS とは、Statistical Package for Social Science という統計解析ソフトのこと。SAS と並んで、世界で最もよく使われている社会科学向け統計解析ソフト。

2. 使用法

SPSS は、固有のデータファイルを使って、プルダウンメニュー方式で、分析をすることも可能であるが、ここでは、テキストファイルデータをその都度読み込んで、データファイルを生成し、分析する方式を使う。(詳しい理由については、マニュアル「達人への道」第1章を参照)。マニュアルは、<http://www.rikkyo.ne.jp/web/yamatsumoto/tatujin0.htm> からダウンロードできる。

3. システムを立ち上げから、SPSS の立ち上げまで。

①電源を入れる

→ XP か VISTA かを選択する画面が出る。

② XP を選択して[enter]キーを押す。

→ ID とパスワードの入力画面が出る。

③ ID とパスワードを入力して Windows にログオンする。

→ Windows が立ち上がる

④デスクトップにある「授業用（読専）」フォルダを開く*。

→フォルダの中身が見える

⑤「09 社会学データ実習_松本」のフォルダを開く*。

→「tgss2000 授業用」フォルダがみえる。

⑥「tgss2000 授業用」フォルダをデスクトップにドラッグする。

→デスクトップに「tgss2000 授業用」フォルダがコピーされる。

フォルダ内には、三つのファイルが入っています。

tgss00npr SPSS 用シンタックス。プログラムが書かれています。

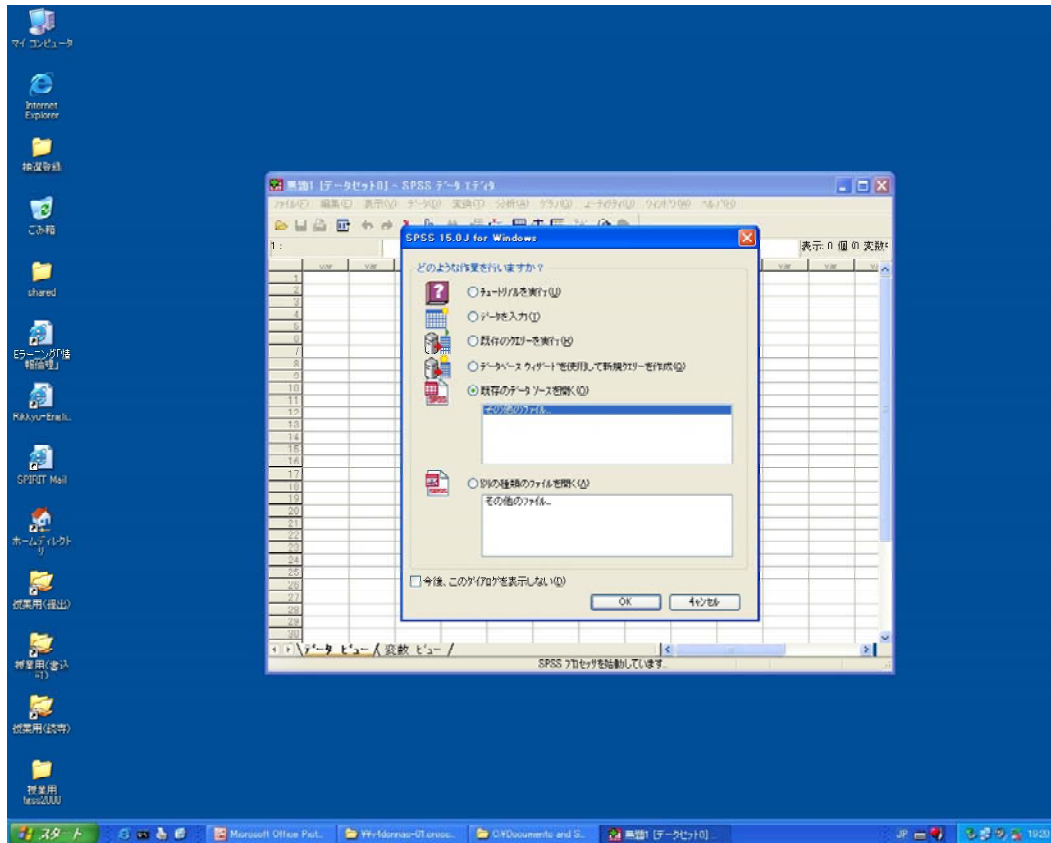
tgss2000.txt SPSS がアクセスするデータです。見た目は単なる数字の羅列です。

tgssquestion 調査票です。暇なときにプリントアウトしておいてください。

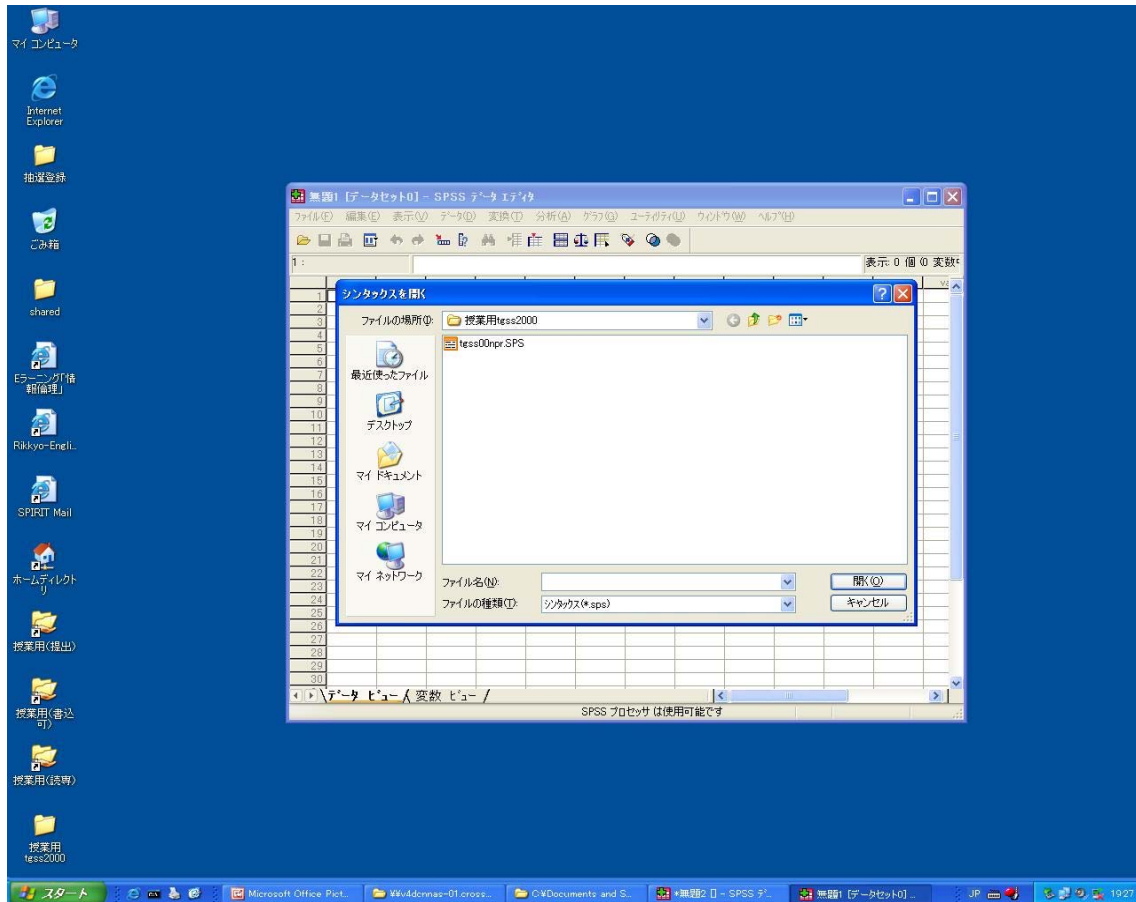
*一回目だけの作業。2回目からは「ホームディレクトリ」からデスクトップにコピーする(5-①参照)。

⑦スタート→プログラム→プログラム・統計→ spss for windows → spss15.0J for windows をクリック

→初期画面が立ち上がる



- ⑧立ち上がっている spss 初期画面をキャンセル
→「無題1」というデータファイル画面が残る。
- ⑨「無題1」のF(ファイル) →開く→シンタックスをクリック
→シンタックスの読み取り画面が立ち上がる。
- ⑩ファイルの場所 デスクトップ→tgss2000 授業用をクリック



⑪ tgss00npr をクリック

→ファイル名欄に tgss00npr が入力される

⑫ 「開く」をクリック

→ spss シンタックスエディタが立ち上がる。

⑬ 1行目 「ユーザ ID」と書かれている場所を各自の ID に書き換える**。

**これによりテキストファイル (tgss2000) に spss がアクセスすることができますようになります。

⑭最終行 freq chiten.となっていることを確認する。

⑮実行→すべて をクリック

→ spss ビューアが出力される。

画面をスクロールしていくと、最後に調査地点別のケース数を示す度数分布表が出力されているはずです。

4. spss を終了して、自分のフォルダにデータを保存する。

SPSS を終了する際には、「出力ビューア」と「データエディタ」は保存しない。

「シンタックスエディタ」のみを保存する。

- ①出力ビューアの終了（×をクリック）
→「出力ビューアを保存しますか」と聞いてくる
- ②「いいえ」をクリック（出力ビューアは保存しない）。
→シンタックスエディタがアクティブになる。
- ③シンタックスエディタの終了（×をクリック）
→「**シンタックスエディタ**を保存しますか」と聞いてくる
- ④「はい」をクリック（シンタックスエディタは保存する）。
→データエディタが残り、「データエディタの内容を保存しますか」と聞いてくる。
- ⑤「いいえ」をクリック（データエディタは保存しない）
→「データエディタウィンドウを閉じると spss が終了します。続行しますか」と訊いてくる。
- ⑥「はい」をクリック（spss を終了させる）
→デスクトップ画面になる。
- ⑦デスクトップ上にある「**tgss2000 授業用**」をホームディレクトリにドラッグする。
自分のフォルダにtgss2000授業用のフォルダが入っているかどうかを確かめる。

5. 自分のフォルダからデータを取り出し、SPSS を立ち上げる。

- ①自分のフォルダから「**tgss2000 授業用**」フォルダをデスクトップにドラッグする。
→デスクトップに「**tgss2000 授業用**」フォルダがコピーされる**。
以下、3. の⑥からの手順を繰り返す。

**必ずデスクトップにコピーしてから作業を開始してください。

また、作業終了後は、シンタックスエディタのみを保存し、フォルダごとホームディレクトリに格納してください。（必要なファイルは、**tgss00npr.sps** と **tgss2000.txt** の二つだけです）。

6.SPSS による度数分布表の出力

前提（1）自分のフォルダからデスクトップに「**tgss2000 授業用**」フォルダがコピーされている。

（2）spss を立ち上げ、シンタックスエディタが読み込まれている。

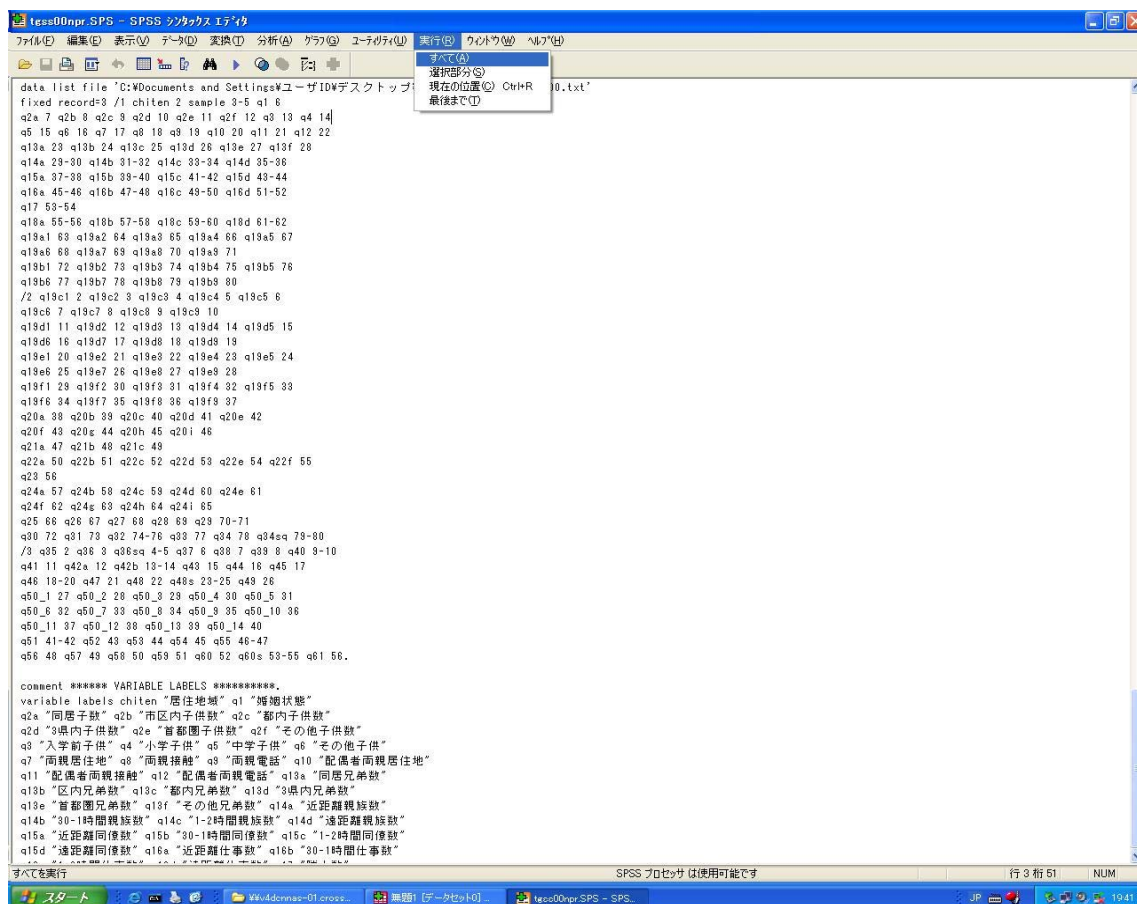
最終行の **freq chiten** の **chiten** のところの変数名を書き換えることにより、指定された変数の度数分布表を計算するコマンドとなります。

【実習課題 1】 地域 5 カテゴリーの度数分布表を作成する

【ポイント】 **freq chiten.** のまま実行。

- ①「実行」→「すべて」をクリック

シンタックスエディタを読み込んだあと、まだ一度も「実行」していない段階では、データの読み取り書式を含むすべてのコマンドを実行する必要があります。したがって、画面上部の「実行」→「すべて」をクリックします。



画面がめまぐるしく変わるが、これは、データを読み込んで、spss 専用のデータ・エディタを生成し、プログラムに含まれている一連の変数変換をしたうえで、度数分布表の作成に進むためです。

度数分布表をワードに貼り付ける。

さまざまな技法がありますが、ここでは、度数分布表をそのままコピーする方法を紹介します。

②度数分布表をクリックする→黒い枠で囲まれる。

③[Ctrl]キーを押しながら[C]を押す。

[Ctrl]キー（コントロールキー）は、キーボード左手前と右手前にある。どちらを使っても良い。

[Ctrl]+[C]はコピーをするときによく使われるキー操作で、ほとんどのソフトに共通していますので、覚えておくと便利です。なお、画面上では何の変化も起こりません。

④ワードを立ち上げる。

学生番号と名前を書き込んだ後、ワード画面上で、コピー先にカーソルをおき、[Ctrl]

キーを押しながら[V]キーを押す。

→度数分布表がコピーされる。【実習課題 1 完了】

【実習課題 2】 個人所得 8 カテゴリーの度数分布表の作成

【ポイント】 freq q52 を実行する。

個人所得 8 カテゴリーは調査票の問 5 2 の回答コードをそのまま使った変数です。変数名は q52 を指定してあります（いずれ説明します）。そこで、さきほどの chiten を q52 に書き換えればよろしい。

① freq chiten. を freq q52.に書き換える。（ピリオドを消さないように）。

次に実行です。すでに課題 1 で spss がデータを読み込んでいますので、今回は freq q52. だけ実行すればよい。やり方は次の 3 通り。

シンタックスエディタ上で、カーソル（入力位置を示す縦の棒で常時点滅している）が freq q52.の行にあることを確認して、

②-1 「実行」→「現在の位置」（現在の位置とはカーソルの位置を言い、カーソル位置にかかっているコマンドだけを実行する。ピリオドまでがひとまとまりのコマンドとなる）。

②-2 「実行」→「最後まで」（最後までとは、カーソル位置から最後までを言う。ここでは、freq q52 が最後の行なので、結局これだけが実行される）。

②-3 [Ctrl]+[R] これは、②-1 をキー操作で指示するもの。慣れると早い。

以下、実習課題 1 と同様の手順で、結果をワードに貼り付ける。

【実習課題 3】 学歴 4 カテゴリーの度数分布表

【ポイント】 学歴 4 カテゴリーは、問 43 の回答者本人の学歴をつかう。変数名は q43 によって、freq q43.を実行。手順は課題 2 と同じ。

【実習課題 4】 年齢 10 カテゴリーの度数分布表

【ポイント】 問 42 の回答者本人の年齢をつかう。変数名は q42b。（実際には 11 カテゴリーある）。

【1～4】ができたなら、「度数分布表」という文書名をつけて、自分のフォルダに保存したうえで、V-Campus CHORUSの「社会学データ実習」→「レポート課題」→「度数分布表」をひらき、ファイルを転送してください。

4. の手順に従って、確実に、spss を終了させ、書き換えられたシンタックスエディタをホームディレクトリに保存する。次回の授業は 8201 教室で実施する。